

## ○Web サイトにオプトアウトする書式

### 「整形外科領域におけるアミノグリコシド系抗菌薬を用いた持続洗浄療法の安全性の評価」

#### ○研究の概要

抗菌薬は骨や関節へ届きにくく、整形外科領域の感染症では治療が難渋することが多いです。そのため、近年、抗菌薬を用いて、直接感染部位を洗浄する治療が注目されています。熊本医療センター（以下、当院）においても、アミノグリコシド系抗菌薬を用いた持続洗浄が施行されています。しかしながら、本洗浄療法について、安全性を評価した報告は少なく、さらにデータを蓄積して妥当性を評価しなければなりません。当院で実施されたアミノグリコシド系抗菌薬の持続洗浄療法について使用状況を調査します。本研究により、抗菌薬を用いた持続洗浄療法の質向上に貢献できると考えます。

#### ○研究の目的と方法

アミノグリコシド系抗菌薬を用いた持続洗浄療法の使用状況を調査し、本洗浄療法の安全性を確保することを目的としています。本研究は、当院でアミノグリコシド系抗菌薬を用いて持続洗浄療法を実施した患者を対象とします。対象患者の臨床データ(患者背景、血清クレアチニン値、アミノグリコシド系抗菌薬の血中濃度等)を診療録から後方視的に調査します。

#### ○本研究の参加について

これにより患者様に新たな検査や費用の負担が生じることはありません。また、研究に扱う情報は、個人が特定されない形で厳重に扱います。皆様の貴重な臨床データを使用させていただくことにご理解とご協力をお願いいたします。本研究にご自身のデータを研究に使わないでほしいと希望されている方、その他研究に関してご質問がございます際は、末尾の問い合わせ先までご連絡ください。

#### ○調査する内容

本研究は、新たに試料・情報を取得することではなく、既存カルテ情報のみを用いて実施する研究です。研究対象者（患者様）の個人情報（氏名、住所、電話番号、カルテ番号など）は記載せず、対応表を作成して管理しますので、個人情報は特定されません。

#### ○実施期間

研究対象期間：令和1年4月1日～令和6年3月31日まで

研究実施期間：倫理委員会承認後～令和7年3月31日まで

#### ○研究成果の発表

調査した患者様のデータは集団として分析し、学会や論文で発表します。また、個々の患者様のデータを発表する場合も、個人が特定されることはありません。

#### ○研究代表者

国立病院機構熊本医療センター 薬剤部 西嶋 友里乃

#### ○当院における研究責任者

国立病院機構熊本医療センター 薬剤部 西嶋 友里乃

#### ○問い合わせ先

国立病院機構熊本医療センター 薬剤部 西嶋 友里乃 096-353-6501